

平成 23 年 9 月 14 日

報道関係各位

東京都世田谷区太子堂 2-16-5
株式会社 QLife(キューライフ)

「地域の放射能」に対して一般市民の方が医師より健康上の不安もつ
魚介類、野菜類の「産地を選ぶ」は 50%超
～関東 1 都 6 県調査～

日本最大級の病院検索サイト、医薬品検索サイト、医療情報サイトを運営する総合医療メディア会社の株式会社 QLife(キューライフ/本社:東京都世田谷区、代表取締役:山内善行)は、一般市民向け調査『「地域の放射能の健康影響」をどう考え、一個人として行動しているか?』を実施して、その結果を発表した。関東 1 都 6 県の 250 人から回答を得た。

それによると、ほぼ同時期にほぼ同じ設問項目にて行った医師向け調査の結果と、傾向が似通っているものの、不安に思う一般市民は医師よりも多いことがわかった。

★詳細は、QLife のこちらの記事より

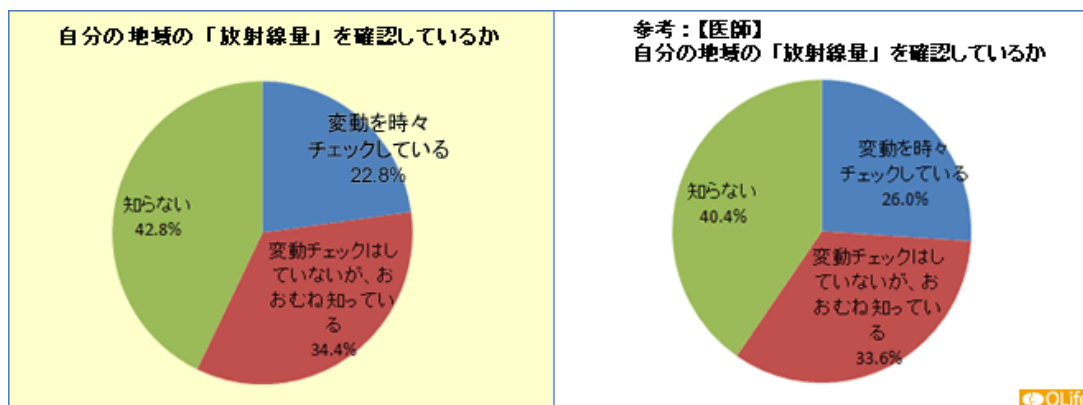
<http://www.qlife.jp/square/hospital/story23106.html>

★詳細なレポートの PDF ファイルは以下より

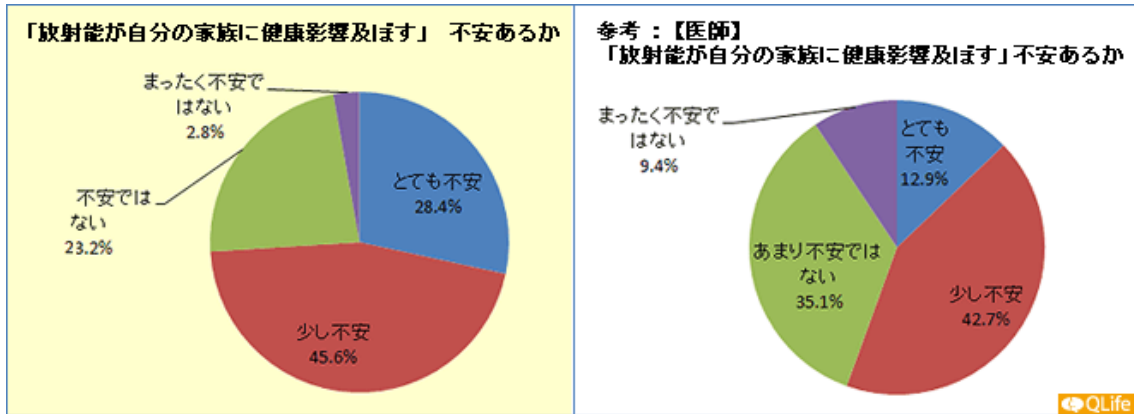
http://www.qlife.co.jp/news/110909qlife_research.pdf

■主な結論:

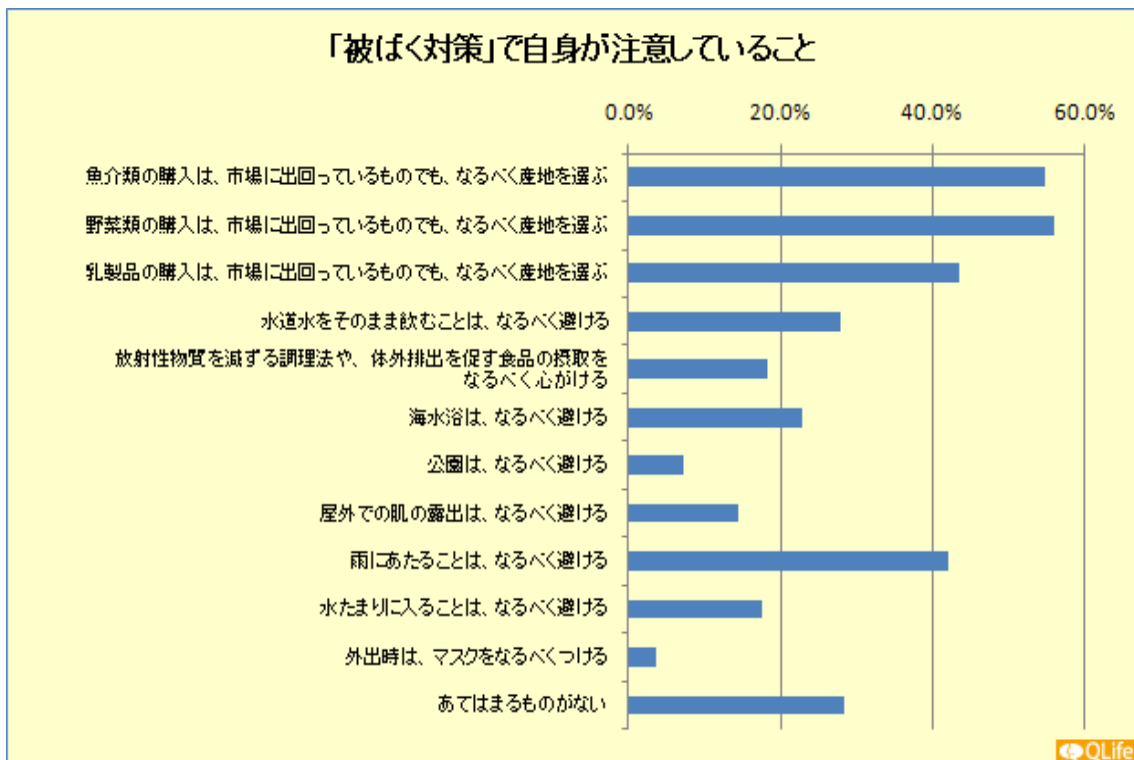
1. 「自分の地域における放射線量」の具体的な数値について把握している人は、**57.2%**であった。その中でも **22.8%**は時々チェックをして「変動」を確認している。医師対象調査では、具体的な数値について把握している医師は **59.6%**とほぼ同じ結果であった。



2. 「家族への放射能健康被害」について不安を感じている人は74.0%に上った。医師を対象とした調査では、55.6%が不安を感じているという結果であったため、一般人の方が不安を抱える人は多いことがわかった。



3. 「被ばく対策」に限定して、「自身の注意事項」を選択回答してもらった。最も多かったものは「食品産地」に関するもので、魚介類、野菜類ではそれぞれ50%以上、乳製品では43.6%の人が注意をしていることになる。2番目は「雨を避ける」で、42.0%であった。医師を対象とした調査との比較では、選ばれている選択肢の傾向は大きく変わらないが、一般人のほうが魚介類、野菜類に対する回答率がより高いことが特徴的である。





<株式会社 QLife の会社概要>

会社名 : 株式会社 QLife(キューライフ)

所在地 : 〒154-0004 東京都世田谷区太子堂 2-16-5 さいとうビル 4F

代表者 : 代表取締役 山内善行

設立日 : 2006年(平成18年)11月17日

事業内容:健康・医療分野の広告メディア事業ならびにマーケティング事業

企業理念:生活者と医療機関の距離を縮める

サイト理念:感動をシェアしよう!

URL : <http://www qlife.co.jp/>

本件に関するお問い合わせ先:

株式会社 QLife 広報担当

TEL : 03-5433-3161 / E-mail : info@qlife.co.jp
